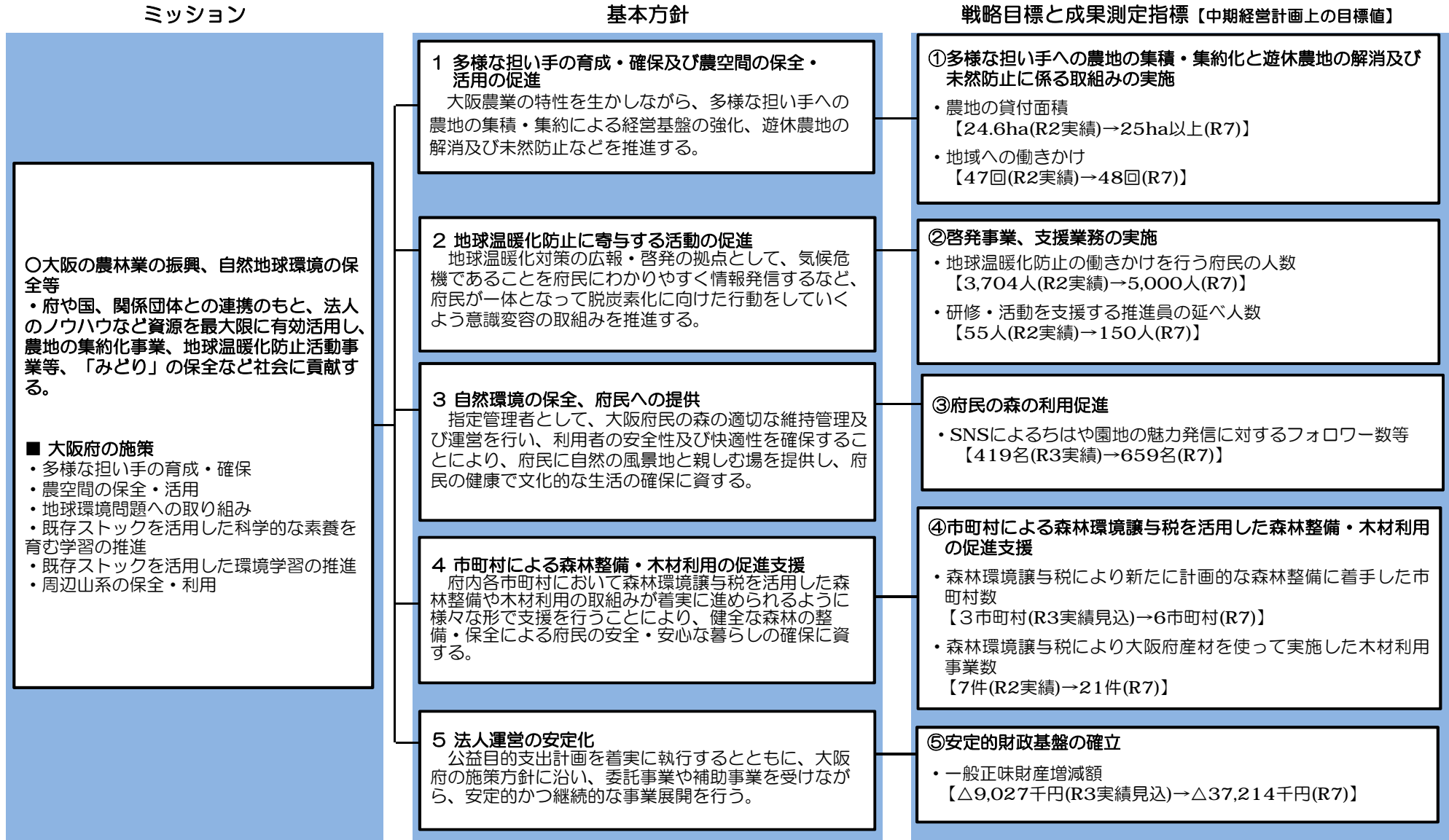


法人名	一般財団法人大阪府みどり公社
作成 (所管課)	環境農林水産部 環境農林水産総務課

## ○ 経営目標設定の考え方



法人名	一般財団法人大阪府みどり公社
-----	----------------

○ 令和3年度の経営目標達成状況及び令和4年度経営目標設定表

I. 最重点目標(成果測定指標)												
戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R3 ウエイト	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値 〔見込値〕	R4 目標値	R4 ウエイト	中期経営計画 (R3～R7)		R4目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
										R4 目標値	最終年度 目標値	
① 多様な担い手への農地の集積・集約化と遊休農地解消及び未然防止に係る取組みの実施	農地の貸付面積		ha	30	(24.6)	25以上	25.4	26以上	30	25以上	25以上	『大阪府農地中間管理事業の推進に関する基本方針』に則る新規農地貸借(15ha以上)に、今後増加が見込まれる貸借期間終了農地へのフォローアップによる更新分(10ha)を加えて年間25ha以上としているが、令和3年度の実績を踏まえ年間26ha以上とした。
	地域への働きかけ		回	10	47	48	48	49	10	48	48	大阪府と連携して重点的に取り組む地区(重点地区)として、府農政APの協議会設立目標である8団体への働きかけ(各4回)、新規地区の掘り起こしとして、府農と緑4事務所それぞれ4団体への働きかけ(各1回)を行うことから、計48回としているが、令和3年度の実績を踏まえ49回とした。
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)										戦略目標達成のための活動事項		
最重点とする理由、経営上の位置付け	<p>○日本の農業・農村を取り巻く状況は、基幹的農業従事者の高齢化や遊休農地の増加、農業所得の減少等が進行するなど厳しさが増している。このため、国においては、農業の構造改善の加速化、農業の産業としての強化、農業・農村の所得の増加を目指すことにより、若者たちが希望を持つことができる農業・農村を作り上げること目指している。</p> <p>○これを具体的に進めるための柱の一つとして、農地中間管理機構を通じた農地の集約化等生産コストの削減が掲げられ、平成25年に「農地中間管理の推進に関する法律」が制定、翌年に「農地中間管理の推進に関する基本方針」が大阪府で策定されるとともに、当該法律に基づき府内で唯一の事業機関として当社は「農地中間管理機構」に指定された。</p> <p>○当社は、大阪府における地域社会と調和のとれた農林業の振興を図るとともに、地球環境の保全及び自然環境の回復等良好な生活環境の保全を推進していくことを目的としている。</p> <p>○大阪府より農地中間管理機構として求められている「担い手の育成、農地の集積・集約化の推進、遊休農地の解消や未然防止」等は、公社の理念とも合致していることから、当該事業を公社4本柱の最重点事業として実施する。</p>											
最重点目標達成のための組織の課題、改善点	<p>○農地と農業者のマッチング(一部事務手続きを含む)までの業務を担うべき市町村の体制が脆弱なため、本来機構が担うべき役割以上の業務を機構が実施しながら取り組んでいる。</p> <p>○機構は農地貸借の手続き事務を主な業務としているが、対象となる農地や農業者の掘り起こしやマッチングを円滑に行うためには、機構が中心となって大阪府、市町村、農業委員会、JA、土地改良区等との連携が不可欠である。このため、大阪府の農地利用促進チームや各団体との連絡調整会議等を積極的に実施し、情報共有や一体となった活動に一丸となって取り組んでいく。</p> <p>また、土地改良区等に事業PRやアンケート調査、農地貸付及び借り受け意向の確認等の業務を委託することにより、取り組みの促進に必要なきめ細かな情報収集等にも取り組んでいく。</p> <p>○これら推進体制を強化することにより実績を挙げ国補助金の確保に努める。</p>											
活動方針	<p>○農地の面的な貸借: 条例における農空間保全地域制度及び機構関連農地整備事業実施に繋がる地区など、面的事業展開に重点的に取り組む。</p> <p>○事業活用に向けた積極的な地域への働きかけと事業PRを行う。</p> <p>○規模拡大意欲が強い若手農業者や新規参入予定者に対し事業説明を行う。</p>											
										<p>1 大阪府や市町村、関係機関との連携強化 農地中間管理事業の推進には、大阪府や市町村、関係機関との連携が重要であることから、さらに、連携強化を図る。</p> <p>①大阪府と機構の役割分担の上にて、府と連携し、府の農地利用促進チームと一体となって面的な取り組みを更に進める。</p> <p>②市町村、農業委員会、JA及び土地改良区等農業団体と緊密に連携し事業を実施する。とりわけ、農業委員、農地利用最適化推進委員が地域における協議の場に積極的に参加することが法令で明確化されたことから、農業委員会とより密接に連携を図る。</p> <p>③市町村、土地改良区との取組みを促進するため、引き続き、業務委託を促していく。</p> <p>2 重点地域等地域への具体的な働きかけ ①条例における農空間保全地域制度及び機構関連農地整備事業実施に向けた取り組みが進んでいる地区や機運が高まっている地区での重点的な取組みのほか、農地中間管理事業の更なる周知や今後の重点地区の掘り起こしに向け、大阪府や市町村とともに農地中間管理事業の活用に向けて、地域へ働きかけを行う。</p> <p>②具体的な働きかけ 大阪府や市町村とともに、地域の農業者の現状やハード・ソフト面のニーズ、地域の将来像への考え方を共有し、地域のキーパーソンと連携しながら、農地中間管理事業の活用を働きかける。また、規模拡大農家が不在の地域に対しては、府と連携し、機構関連農地整備事業の実例を紹介しながら、事業の活用を促す。</p> <p>『地域への働きかけ』の流れとカウントについて I 府・市町村とのターゲットの共有 ⇒ II 現地調査、農空間保全委員会や地域での事業PR ⇒ III 市町村との連絡協議 ⇒ IV 地域の代表者への説明 ⇒ V 説明会等において役員等への説明 (説明内容) ・概要説明での働きかけ ・詳細説明での働きかけ ・「人・農地プラン」の検討(集積・集約する担い手の検討) ・具体的な進め方の協議 ・具体的な進め方の検証と今後の進め方 VI 農地中間管理事業手続き開始(貸借意向を示した地権者からの借受け等) ※『地域への働きかけ』の回数は、上記取組のうち、「V役員等への説明」以降の回数をカウントする。</p>		

法人名	一般財団法人大阪府みどり公社
-----	----------------

**II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)**

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R3 ウエイト	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値 〔見込値〕	R4 目標値	R4 ウエイト	中期経営計画 (R3~R7)		R4目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合 は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
										R4 目標値	最終年度 目標値		
② 啓発事業、支援業務の実施	地球温暖化防止の働きかけを行う府民の人数		人	10	(3,704)	5,000	5,310	↓ 5,000	10	5,000	5,000	中期経営計画の目標値(5,000人/年)をR4年目標値とする。※令和3年度は、イベント当日が好天に恵まれたことから想定を超える参加人数があり、中期経営計画の目標値を超える実績を達成	大阪府や市町村と協働して、環境イベントや出前講座、セミナー等の啓発機会を開拓するとともに、Webを活用した啓発にも努める。
	研修・活動を支援する推進員の延べ人数		人	10	(55)	150	155	↓ 150	10	150	150	推進員65人に対して、スキルアップのための研修、及び啓発活動(出前講座、環境イベント、セミナー等)にそれぞれ1回以上の参加を求めることを想定している。	大阪府と協働して研修を行うとともに、SNSやメールを活用して、出前講座等の活動機会の提供や推進員のニーズ把握を行うなど、推進員との連絡調整を綿密に行うことにより、推進員活動の活性化に努める。
③ 府民の森の利用促進	ナラ枯れ被害地の森への再生 (森づくり活動に参加する府民の数)		人	10	-	200	207	-	-	-	-	-	-
	SNSによるちはや園地の魅力発信に対するフォロー数等	☆	人	10	-	-	(419)	479	10	479	659	植物の開花・野鳥・積雪などの自然情報、自然観察会などのイベント情報、路線バスアクセス情報などの情報発信をFacebook、Instagram、YouTube等により行い、園地のファンとなるこれらのフォロー数・登録者数を479人(+60人)以上に増加させる。	大阪随一の高地である金剛山の貴重な動植物等の自然情報などをわかりやすくタイムリーに発信し、その魅力を広く府民に伝え、来園者を増やす。
④ 市町村による森林環境譲与税を活用した森林整備・木材利用の促進支援	森林環境譲与税により新たに森林整備に着手した市町村数(森林を有する33市町村中)		市町村	10	(2)	3	[8]	-	-	-	-	-	-
	森林環境譲与税により新たに計画的な森林整備に着手した市町村数(森林を有する33市町村中)	☆	市町村	10	(0)	-	[3]	4	10	4	6	R7年度で、森林面積1千ha以上の市町村は100%(16/16)、1千ha未満の市町村は50%(9/17)、累計25市町村で森林整備が着手されることを目指し、毎年段階的に実績数が増えるよう支援を行ってことしており、R4年度の目標は4市町村とする。	最終的には森林を有する33市町村で適切かつ継続的な森林整備が行われるよう、市町村への普及や支援はもとより、大阪府産材の安定供給体制の構築に向けて木材関係事業者への働きかけ等も行っていく。
	森林環境譲与税により大阪府産材を使って実施した木材利用の事業数		件	10	(7)	9	[11]	11	10	11	21	R7年度で、大阪府産材を使って実施した木材利用の事業数がR2年度実績7事業の3倍となることを目指し、毎年段階的に実績数が増えるよう支援を行っていく。	各市町村で行う木材利用事業について、大阪府産材が可能な限り活用されるよう、市町村への普及や支援はもとより、大阪府産材の安定供給体制の構築に向けて木材関係事業者への働きかけ等も行っていく。

**III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)**

⑤ 安定的財政基盤の確立	一般正味財産増減額		千円	10	△4,310	△16,254	[△9,027]	△ 40,966	10	△ 40,966	△ 37,214	R4事業計画及び収支計画による各事業の補助金及び委託料等収入の確保及び効率的な事業実施と費用支出に努める。	計画の補助金や委託料の確保は元より、直営事業等収益事業における収入の向上に努める。
--------------	-----------	--	----	----	--------	---------	----------	----------	----	----------	----------	---	---

【凡例】  
 ・☆はR4年度からの新規項目  
 ・×は目標値未達成  
 ・↓は前年度実績比マイナスの目標値  
 ・〔 〕内の数値は、参考として記入した実績見込値  
 ・( )内の数値は、当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値

法人名

一般財団法人大阪府みどり公社

## CS調査の実施概要

## ○令和3年度の実施結果

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
府民の森利用者満足度	アンケート用紙を各園地案内所に常時配備	利用者	くろんど 32件 ほしだ 123件 むろいけ 34件 中部 71件 ちはや 15件	令和3年4月～令和4年2月

実施結果の主な内容	実施結果を踏まえた取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>・閉園時間を遅らせてほしい（くろんど）</li> <li>・単車置場を整備してほしい（ほしだ）</li> <li>・休憩広場を広く、また、数を増やしてほしい（ほしだ）</li> <li>・多客期は開園時間を早めてほしい（ほしだ）</li> <li>・トイレの故障の復旧と、洋式化を進めてほしい（むろいけ）</li> <li>・手入れが行き届き、満足している（むろいけ）</li> <li>・道路や園路が傷んでおり、歩きにくい（中部）</li> <li>・ハイキング道の近くに枯れマツがあり、危険である（中部）</li> <li>・金剛山ロープウェイや宿泊施設香楠荘を再開してほしい（ちはや）</li> <li>・ログハウス休憩所は、寒いとき助かる（ちはや）</li> </ul>	<p>（結果を踏まえ実施した取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休憩適地には、ベンチの設置・増設を実施。</li> <li>・ほしだ園地は、行楽シーズンに駐車場の開場時間を1時間早めた。</li> <li>・基幹道は舗装、園路は階段の設置や路面の改修を実施</li> <li>・園路沿いの枯木や危険木は、伐採処理を確実に行った。</li> </ul> <p>（今後実施予定の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木製階段、転落防止柵の設置など園路整備を計画的に実施する。</li> <li>・園地、キャンプ場内の枯損木、危険木は速やかに伐採処理を実施する。</li> </ul>

## ○令和4年度の実施方針

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
ちはや園地利用者の満足度	星と自然のミュージアム、ログハウス休憩所、キャンプ場管理事務所にアンケート用紙を常時配備	園地利用者	—	令和4年4月～令和5年3月

法人名	一般財団法人大阪府みどり公社
-----	----------------

■ 成果測定指標変更（廃止）希望の理由について

〔1〕

●変更前

R3年度の 成果測定指標	単位	R3年度の 目標値
ナラ枯れ被害地の森への再生（森づくり活動に参加する府民の数）	人	200

●変更後

R4年度の 成果測定指標	単位	R4年度の 目標値
SNSによるちはや園地の魅力発信に対するフォロワー数等	人	479

成果測定指標の変更（廃止）を希望する理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の森づくり活動は、府民の森北河内地区をフィールドとして実施するものであるが、みどり公社は北河内地区のR4以降の指定管理業務を行うことがなくなった。このため、指定管理業務をR4に引き続き行う南河内地区（ちはや園地）の計画に変更する。</li> <li>・ 南河内地区（ちはや園地）における今後の指標として来園者の増加を目指すものに変更を希望する。</li> <li>・ ちはや園地に関する情報発信を増やし、より多くの府民にちはや園地の魅力や情報を提供し認知度をより高めることで来園者の増加に努める。</li> </ul> <p>このため、SNS（Facebook、Instagram、YouTube）のフォロワー数及び登録者数を成果測定指標として使用することとしたい。</p>
----------------------	--

〔2〕

●変更前

R3年度の 成果測定指標	単位	R3年度の 目標値
森林環境譲与税により新たに森林整備に着手した市町村数（森林を有する33市町村中）	市町村	3

●変更後

R4年度の 成果測定指標	単位	R4年度の 目標値
森林環境譲与税により新たに計画的な森林整備に着手した市町村数（森林を有する33市町村中）	市町村	4

成果測定指標の変更（廃止）を希望する理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林整備・木材利用促進支援センターでは、市町村が森林環境譲与税を活用した森林整備や木材利用促進の取り組みを円滑かつ確実に推進できるよう、相談窓口の設置や、研修会の開催等によるサポートを実施してきた。また、森林整備については、計画的な対策・事業が行われるよう市町村に働きかけを行ってきた。</li> <li>・ これらの計画的な森林整備のほか、災害対策等として緊急的な対応が必要となった市町村に対するサポートも併せて行っており、成果測定指標は、計画的に実施した市町村数に加え、計画によらず緊急的に実施した市町村数をカウントしていた。</li> <li>・ 今後、目標値としては、発生予測が困難な緊急的対応による事案を除き、計画的に実施する件数とする。</li> </ul>
----------------------	--

法人名	一般財団法人大阪府みどり公社
-----	----------------

■ 令和3年度実績比 マイナス（現状維持）目標の考え方について

〔1〕

成果測定指標	単位	R3年度の実績値(見込値)	R4年度の目標値
地球温暖化防止の働きかけを行う府民の人数	人	5,310	5,000

<p>マイナス (現状維持) 目標の考え方</p>	<p>地球温暖化防止の働きかけは、イベント、出前講座、セミナーのほか、オンラインも活用して広く行っていくこととするが、対面での催事については、天候の状況や働きかけを行う企業、イベント等の主催者である市町村等の判断によって変動する。<b>R3年度</b>は好天に恵まれ目標を上回ることができたが、特に参加人数の多いイベントは、万博公園、サイクルスポーツセンター、鶴見緑地、里山ウォークラリーなど屋外で開催されるものが多く、<b>R4年度</b>も同様の好条件になるかどうかは予測不可能である。限られた予算や人員の中で、<b>R4年度</b>も中期経営計画の目標値を達成できるよう鋭意努めることとする。</p>
-----------------------------------	---

〔2〕

成果測定指標	単位	R3年度の実績値(見込値)	R4年度の目標値
研修・活動を支援する推進員の延べ人数	人	155	150

<p>マイナス (現状維持) 目標の考え方</p>	<p>大阪府と協働して研修を行うとともに、SNSやメールを活用して、出前講座等の活動機会の提供など、推進員との連絡調整を綿密に行い、推進員活動の推進に努めこととするが、天候の状況やイベントの主催者である市町村等の判断によって、予定していた活動機会が変更になることもありうる。<b>R3年度</b>は順調に実施できたが、<b>R4年度</b>も同様の好条件になるかどうかは予測不可能である。限られた予算や人員の中で、<b>R4年度</b>も中期経営計画の目標値を達成できるよう鋭意努めることとする。</p>
-----------------------------------	--

法人名	一般財団法人大阪府みどり公社
-----	----------------

■ 令和3年度実績比 マイナス（現状維持）目標の考え方について

〔3〕

成果測定指標	単位	R3年度の実績値(見込値)	R4年度の目標値
森林環境譲与税により大阪府産材を使って実施した木材利用事業数	件	〔11〕	11

<b>マイナス (現状維持) 目標の考え方</b>	<p>各市町村における木材利用事業において大阪府産材を確実に利用してもらうためには、発注の際の仕様書に大阪府産材の使用を明記してもらうことが必要であり、その働きかけを進めているところ。</p> <p>市町村の方針・判断で産地の指定までできないところもまだまだ多いことや、大阪産材の販売ルートが確立していない現時点において、製品の種類や発注を受けた事業者によっては、大阪産材を使うことが困難な場合があるなど一気に実績を広げていくことは難しいが、R4年度も中期経営計画の目標値を達成できるよう鋭意努めることとする。</p>
-----------------------------------	---

〔4〕

成果測定指標	単位	R3年度の実績値(見込値)	R4年度の目標値
一般正味財産増減額	千円	〔△9,027〕	△40,966

<b>マイナス (現状維持) 目標の考え方</b>	<p>大阪府民の森の管理運営等に努めてきたが、その内、北河内・中河内地区に係る令和4年度以降の指定管理者の公募が行われ、指定管理者申請を行ったものの不採択となったため、収支状況がマイナスとなった。</p> <p>※府民の森（北河内・中河内地区）にかかるR3年度収入額 約1億5500万円</p> <p>※支出額約1億1800万円減の主なもの、府民の森（北河内・中河内地区）の人件費及び管理経費などの減少による</p> <p>※正味財産・見込（収支状況）</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>389,687千円</td> <td>239,465千円</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>398,714千円</td> <td>280,431千円</td> </tr> <tr> <td>収支差額</td> <td>△ 9,027千円</td> <td>△ 40,966千円</td> </tr> </tbody> </table>		R3	R4	収入	389,687千円	239,465千円	支出	398,714千円	280,431千円	収支差額	△ 9,027千円	△ 40,966千円
	R3	R4											
収入	389,687千円	239,465千円											
支出	398,714千円	280,431千円											
収支差額	△ 9,027千円	△ 40,966千円											